

『Mind Charging』

第 242 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 3 月 23 日

エラ・ウィーラー・ウィルコックスの名言



収穫期を迎えることはないかもしれないが、 あなたの一つ一つの行動が種をまいているのです。

幼い頃からこれまでに多くの方々から『自分の行動に責任を持つ』ということについて指導されてきましたが、今回の言葉に改めて指導されているように感じました。この言葉にある“収穫期”というものは、自分の起こした行動に対する“結果”という意味に捉えられます。そういう意味では行動に対して結果が出ないことはあり得ないはずですから、彼女は『行動(努力)に対して毎回“良い結果”に結びつくとは限らない』と伝えたかったのではないかと考えます。努力を重ねても望む結果が得られないことがあります。俗に言う“まぐれ”も含め、大した努力もせずに驚くほどの成果を感じることもあります。不思議でもあり、納得できない部分もありますが、おそらくこのような経験がみなさんにもあると思います。

これは私の仮説ですが、『成功するための条件が 10 項目あったとして、幸運なことに既に 9 項目持っていて、1 項目だけ努力し、それが該当していたから成功。30 項目に対する努力を重ねたものの、条件に該当する項目が 3 項目しかなかったから失敗』ということなのかもしれないと考えました。では、後者は“無駄な努力”だったのでしょうか。私はそうは思いません。なぜなら次回に成功する条件の全てが、今回の努力で得たものの該当しなかった 27 項目の中に全て入っていて努力ゼロで成功という可能性があるからです。みなさんが感じた“まぐれ”は、自分の努力が花開いた瞬間であり、本当は、まぐれというのは存在しないのではないのでしょうか。

いつ花を咲かせるのかわかりませんが、種をまき、水をやるという“行動”が重要です。これをサボると育った芽がすぐに枯れてしまうのかもしれないかもしれません。花壇を荒らされてしまうのかもしれないかもしれません。しっかりと行動していたら自分以外の誰かも肥料を持って手伝いに来てくれるのかもしれないかもしれません。自分史上最高の収穫期を迎えましょう！（編集委員：入試広報室 鈴木）

エラ・ウィーラー・ウィルコックス(英: Ella Wheeler Wilcox、1850 年 11 月 5 日-1919 年 10 月 30 日)は、アメリカ合衆国の作家、詩人である。その最もよく知られた作品は『Poems of Passion』(情熱の詩)である。不朽の名作と言えば、「貴方が笑えば、世界は貴方と共に笑う。貴方が泣くとき、貴方は一人で泣く。」という節がある『Solitude』(孤独)である。自叙伝『The Worlds and I』(世界と私)はウィルコックスが死ぬ 1 年前の 1918 年に出版された。(Wikipedia 参照)